



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年11月1日

上場会社名 FCM株式会社

上場取引所 東

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川森 晋治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 2018年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	11,476	3.2	304	87.9	298	83.1	202	85.8
2018年3月期第2四半期	11,119	28.8	161	59.4	162	65.9	108	67.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	118.59	—
2018年3月期第2四半期	63.84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	12,387	4,547	36.7	2,669.28
2018年3月期	12,476	4,485	36.0	2,632.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 4,547百万円 2018年3月期 4,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,622	0.5	581	△11.2	573	△11.9	401	△11.5	235.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	1,704,267 株	2018年3月期	1,704,267 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	534 株	2018年3月期	534 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	1,703,733 株	2018年3月期2Q	1,703,733 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断している一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の経営成績は売上高11,476,810千円(前年同期比3.2%増)、営業利益304,399千円(前年同期比87.9%増)、経常利益298,424千円(前年同期比83.1%増)、四半期純利益202,050千円(前年同期比85.8%増)となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は3,372,376千円(前年同期比3.7%減)となりました。スマートフォン向けコネクタなどの民生関連は当初の見込みに達しませんでした。自動車、産業機器や医療機器関連が堅調に推移する状況となっています。生産ラインの集約で効率向上を図るなどした結果、当セグメントの経常利益は167,698千円(前年同期比364.5%増)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は8,104,434千円(前年同期比6.4%増)となりました。当セグメントの主力である建設・電販向けだけでなく平角・異形線なども、ほぼ計画通りの推移となっています。その結果、当セグメントの経常利益は130,725千円(前年同期比3.1%増)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	3,501,634	31.5%	3,372,376	29.4%	△3.7%
電気機能線材事業	7,618,346	68.5%	8,104,434	70.6%	6.4%
合計	11,119,980	100.0%	11,476,810	100.0%	3.2%

加工売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,619,976	72.0%	1,710,150	73.3%	5.6%
電気機能線材事業	631,204	28.0%	623,950	26.7%	△1.1%
合計	2,251,180	100.0%	2,334,101	100.0%	3.7%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は12,387,245千円となり、前事業年度末に比べ89,365千円減少しました。これは現金及び預金の増加201,244千円、有形固定資産の増加165,230千円や受取手形及び売掛金の減少268,461千円、電子記録債権の減少299,429千円などによるものです。

負債は7,839,508千円となり、前事業年度末に比べ151,642千円減少しました。これは買掛金の減少207,621千円などによるものです。

純資産は4,547,736千円となり、前事業年度末に比べ62,277千円増加しました。これは、当第2四半期累計期間の四半期純利益、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて201,244千円増加し、779,015千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、434,178千円の収入(前年同四半期累計期間は619,580千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益298,197千円、減価償却費269,853千円、売上債権の減少額567,891千円であり、主な支出は仕入債務の減少額207,621千円、法人税等の支払額180,339千円などです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出150,131千円などにより149,566千円の支出(前年同四半期累計期間は79,717千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減による収入300,000千円、長期借入金の返済による支出237,960千円、配当金の支払額136,182千円などにより83,367千円の支出（前年同四半期累計期間は102,478千円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、電子機能材事業と電気機能線材事業の両セグメントで、ほぼ計画通りの業績となりました。

第3四半期以降も、おおむね当初の予想通りの着地となる見込みです。

なお、2019年3月期通期の業績予想については変更ありませんが、配当の状況については本日別途公表の「2019年3月期配当予想の修正及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	577,770	779,015
受取手形及び売掛金	5,234,618	4,966,156
電子記録債権	1,164,454	865,024
仕掛品	473,512	549,137
原材料及び貯蔵品	526,227	547,037
その他	19,086	52,407
流動資産合計	7,995,670	7,758,778
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	904,661	872,821
機械及び装置(純額)	1,202,662	1,127,079
土地	1,863,981	1,863,981
リース資産(純額)	—	282,315
建設仮勘定	24,177	19,611
その他(純額)	213,413	208,318
有形固定資産合計	4,208,896	4,374,127
無形固定資産		
	20,280	17,491
投資その他の資産		
投資有価証券	37,860	33,458
繰延税金資産	203,258	193,944
その他	10,644	9,445
投資その他の資産合計	251,763	236,848
固定資産合計	4,480,939	4,628,466
資産合計	12,476,610	12,387,245

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,241,883	4,034,262
短期借入金	300,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	475,920	475,920
未払法人税等	199,848	100,089
役員賞与引当金	14,800	-
その他	532,619	359,960
流動負債合計	5,765,071	5,570,232
固定負債		
長期借入金	1,651,545	1,413,585
リース債務	-	290,144
退職給付引当金	502,818	523,575
その他	71,715	41,971
固定負債合計	2,226,078	2,269,276
負債合計	7,991,150	7,839,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,965,595	3,031,346
自己株式	△1,247	△1,247
株主資本合計	4,478,967	4,544,719
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,491	3,017
評価・換算差額等合計	6,491	3,017
純資産合計	4,485,459	4,547,736
負債純資産合計	12,476,610	12,387,245

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	11,119,980	11,476,810
売上原価	10,286,599	10,471,789
売上総利益	833,381	1,005,021
販売費及び一般管理費	671,400	700,621
営業利益	161,980	304,399
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	600	793
助成金収入	-	427
受取賃貸料	2,154	2,154
スクラップ売却益	990	694
固定資産税還付金	3,389	-
その他	2,598	1,572
営業外収益合計	9,738	5,648
営業外費用		
支払利息	4,658	8,100
売上割引	2,687	3,030
賃貸費用	507	493
その他	911	-
営業外費用合計	8,764	11,624
経常利益	162,954	298,424
特別利益		
固定資産売却益	1,499	999
特別利益合計	1,499	999
特別損失		
固定資産除却損	0	1,227
特別損失合計	0	1,227
税引前四半期純利益	164,454	298,197
法人税、住民税及び事業税	67,785	85,304
法人税等調整額	△12,102	10,842
法人税等合計	55,683	96,146
四半期純利益	108,771	202,050

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	164,454	298,197
減価償却費	256,250	269,853
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,300	△14,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	41,324	20,757
受取利息及び受取配当金	△605	△800
支払利息	4,658	8,100
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,499	△999
固定資産除却損	0	1,227
売上債権の増減額 (△は増加)	△722,002	567,891
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,033	△96,434
仕入債務の増減額 (△は減少)	877,162	△207,621
その他	43,221	△223,463
小計	677,697	621,908
利息及び配当金の受取額	605	800
利息の支払額	△4,650	△8,190
法人税等の支払額	△54,072	△180,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,580	434,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△606	△600
有形固定資産の取得による支出	△78,256	△150,131
有形固定資産の売却による収入	7,380	1,000
無形固定資産の取得による支出	△8,404	-
その他	170	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,717	△149,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△247,956	△237,960
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△9,225
配当金の支払額	△54,522	△136,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,478	△83,367
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	437,385	201,244
現金及び現金同等物の期首残高	129,237	577,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	566,622	779,015

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,501,634	7,618,346	11,119,980
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,501,634	7,618,346	11,119,980
セグメント利益	36,102	126,851	162,954

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,372,376	8,104,434	11,476,810
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,372,376	8,104,434	11,476,810
セグメント利益	167,698	130,725	298,424

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。